

事務事業評価表

○基礎情報

課名		景観みどり課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	44	美しい景観を形成し、命をはぐむみどりを保全・再生・創出する	寺尾 恵一	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				2 人	9 人	0 人	0 人	0 人	931 時間	7.1 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
市域における緑地面積	18.1%	22.0%	18.05%	18.09%	18.14%	18.21%
景観資源の指定件数	10件	16件	10件	10件	13件	13件
みどりの保全活動につながる講座等への参加人数	29人	50人	38人	77人	52人	29人

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業
- ・ 実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかったなし

2 事業実績(平成28年度)

No	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	屋外広告業登録システム導入に係る事務(中核市関連)	中核市の移行に伴い、県より移譲させる屋外広告物業の登録事務について、県及び関係課と調整を図る。人員の確保など必要な準備を進める。	政策的事業				0.06	一般	0 ----- 0	中核市移行の準備	市条例・県条例改正に係る協議及び改正	市条例改正と県条例改正に係る協議	A	
2	景観計画推進事業	茅ヶ崎らしさを再確認し、景観計画の改定を進める。また、景観まちづくり審議会の円滑な事務運営を行う。	政策的事業	●		●	1.64	一般	2,294,000 ----- 2,154,318	景観計画の改定	基本的考え方の構築	基本的考え方の構築	S	●
3	景観資源の保全	眺望、樹木、建造物など本市の景観形成上重要な資源を、景観法及び景観条例に基づき、景観重要建造物等に指定し、資源の維持保全を行う。	政策的事業				0.28	一般	0 ----- 0	景観資源の指定件数(累計)	13件	13件	S	
4	景観重要公共施設等の指定	道路、河川など本市の景観形成上重要な公共施設を、景観法に基づき、整備等の方針を定め、良好な景観形成を図るように規制・誘導を図る。	政策的事業				0.36	一般	0 ----- 0	景観重要公共施設等の指定件数(累計) ※指標の変更(研究会の開催から)	18か所	18か所	S	
5	公共サインガイドライン推進事業	茅ヶ崎市公共サインガイドラインに基づき、ユニバーサルデザインに配慮した分かりやすいサインを整備する。	政策的事業	●			0.66	一般	31,916,000 ----- 22,680,000	公共サインの整備・維持管理	サイン更新・新設茅ヶ崎駅周辺	サイン更新・新設(茅ヶ崎駅周辺)	S	

6	鉄砲道の沿道景観形成事業	街路樹のリニューアルを進め、市街地の延焼遅延効果を向上させるとともに、散歩、サイクリング、買い物など、屋外での生活が楽しくなるような環境を整え、茅ヶ崎の海岸エリアの都市景観の軸となる空間をつくる。	政策的事業	●			0.51	一般	21,060,000 ----- 19,624,680	リニューアル区間	雄三通り～一中通りの区間	雄三通り～一中通りの区間	S	
7	みどりの基本計画推進事業	社会経済情勢の変化や現行計画の課題を踏まえて計画の改定を進める。また、みどり審議会の円滑な事務運営を行う。	政策的事業	●			1.32	一般	3,389,000 ----- 3,141,875	みどりの基本計画の改訂	みどりの現況調査の実施	みどりの現況調査の実施 基本的考え方の構築	S	
8	自然環境評価調査のコア地域における保全管理の推進	自然環境評価調査で重要度が高いとされたコアマップ対象地区で保全活動を支援し、自然環境の保全を推進する。	政策的事業				0.66	一般	400,000 ----- 367,686	保全管理計画の作成(累計)	4地域	4地域	S	
9	自然環境評価調査業務	市内の自然環境について市民調査員による調査を実施する。調査結果は今後の計画策定や施策の推進に活用する。	政策的事業	●			0.46	一般	4,320,000 ----- 4,320,000	事業の進捗	調査の実施 中間とりまとめ	調査の実施 中間とりまとめ	S	
10	生け垣の築造奨励事業	生け垣の築造によるみどり豊かなまちづくりを推進するとともに、延焼防止等の防災面でも寄与する。	政策的事業				0.42	一般	2,277,000 ----- 1,735,000	生け垣総延長	18,100m	17,930m	S	
11	土地利用行為に伴うみどりの保全・創出に関する指導事務	土地利用行為等の際に市内の調整や事業者への指導を行い、みどりの保全・再生・創出を図る。	定例・定型的事業				0.45	一般	0 ----- 0	自然環境庁内会議の実施回数 ※指標の変更(土地利用行為に伴う完了検査から)	12回	12回	S	
12	特別緑地保全地区等指定の推進	特別緑地保全地区等の指定を推進し、貴重な自然環境が残された緑地の保全を図る。	政策的事業	●			0.39	一般	49,079,000 ----- 33,329,266	特別緑地保全地区指定累計箇所数	3か所	2か所	A	
13	緑のまちづくり基金の充実	良好な自然環境を形成している緑地の取得や維持管理を進めるための基金の充実を図る。	政策的事業	●			0.34	一般	1,751,000 ----- 1,721,879	緑のまちづくり基金の積立額	11,380千円	1,722千円	A	
14	緑の保全及び緑化の推進に関する条例の見直し及び運用	みどりの保全等を推進する条例を制定するとともに運用する。	政策的事業	●			0.15	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	条例の公布	条例の公布	S	
15	違反屋外広告物除却事業	都市の良好な景観を維持するとともに、歩行者等公衆に対する危害を防止する。	定例・定型的事業				0.25	一般	1,086,000 ----- 1,044,336	違反屋外広告物の除却件数(年間受理件数)	50件	61件	S	
16	屋外広告物許可等の事務	地域の美観風致の維持と公衆に対する危害の防止のため、屋外広告物を規制します。	定例・定型的事業	●			1.10	一般	0 ----- 0	許可件数	190件	266件	S	
17	景観法・景観条例に基づく届出等の受理事務	一定規模以上の建築物および工作物等について、景観まちづくり条例に基づき良好な景観形成への誘導を図る。	定例・定型的事業				0.37	一般	0 ----- 0	届出の適正処理率(年間受理件数)	100% (80件)	100% (92件)	S	
18	記念樹配布事業	住宅新築時に記念樹を配布することで民有地緑化を推進するとともに、緑化意識の向上を図る。	政策的事業				0.36	一般	600,000 ----- 474,528	配布樹木数	600本	483本	S	●
19	森林法に基づく届出等の受理事務	森林法や茅ヶ崎市地域森林計画に基づく適正な森林施業の管理を行う。	定例・定型的事業				0.24	一般	0 ----- 0	伐採届出書等の審査・受理	5件	7件	S	
20	保存樹林・樹木指定	市街地に残る貴重な樹林(樹木)を保全することで みどり豊かなまちづくり	定例・定型的事業				0.40	一般	38,292,000 -----	保存樹林指定件数	37件	35件	S	

事業	ITエンジニアとして、ソフトウェアの開発業務を推進する。					0.40	月	37,801,267	ITエンジニアの採用と育成	0.40	月	37,801,267	ITエンジニアの採用と育成	0.40	月	37,801,267
----	------------------------------	--	--	--	--	------	---	------------	---------------	------	---	------------	---------------	------	---	------------

21	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.26	一般	0 0	-	-	-		
22	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.32	一般	0 0	-	-	-		
合計							11.00	予算 決算 繰越	156,464,000 128,394,835 -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析														
<p><指標の達成状況> 施策指標のうち「みどりの保全活動につながる講座等への参加人数」について、平成26年度と平成27年度では座学講座の会場の制約から、また、平成28年度については調査員養成講座に代わり自然環境評価調査への参加を呼び掛けることとしたため人数が減少している。なお、評価調査へは約40名の新規調査員が参加している。 当課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き20事業である。これらを指標の達成度は、「S」の17事業であり、「A」3事業、「B」0事業、「C」0事業、「D」0事業、「E」0事業、となっている。指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できなかったものは1事業、第3次実施計画に向けた事業見直しに合わせ事業を実施しないこととしたものが1事業、事業の検討は行ったものの成果に至らなかったもの1事業であり、概ね順調に事業が実施できたと考えている。 「屋外広告業登録システム導入に係る事務（中核市関連）」については、中核市移行に向けて、条例改正、必要となる経費や人工等を県及び広域事業政策課と協議し、課題等を抽出したことから、成果があったとした。 「特別緑地保全地区等指定の推進」については、新規指定できなかったものの、第3回自然環境評価調査委託の中で特別緑地保全地区指定候補地の検討を進めたことから成果があったとした。 「緑のまちづくり基金の充実」については、ふるさと納税での取り扱い項目に加えたことで寄附額を増加できたことから成果があったとした。</p> <p><人工・事務事業費について> 第3次実施計画の策定時に主に定例・定型的事業の見直しを行い、事業費及び事務量の縮減を行った結果、職員の時間外勤務は、総時間で931時間、一人当たりに換算すると月平均7.05時間と、27年度より、時間外の縮減できた。引き続き時間外等の縮減に努める。 さらに28年度、景観まちづくり審議会の委員を1名削減し、事業費の削減や交付金を最大限利用し、一般財源の負担軽減に努めた。</p> <p><今後の事業推進の視点> 地方創生や行政拠点地区や道の駅など、茅ヶ崎のまちのイメージを決定づける公共事業が控えている。公共空間は、生活者（市内外の方）にとっての生活の場であり、生活者それぞれが、訪れて楽しいか、住みやすいかななどを決定する基準である。ここで、茅ヶ崎らしい公共空間を作っていかなければ、茅ヶ崎の魅力や価値、ブランド力は今以上に高まらないと考えている。 そこでまず、茅ヶ崎らしさを再確認する基礎調査を行い、本年度にとりまとめ、現在改定中である景観計画及びみどりの基本計画の理念、目標、具体の施策に反映を行い、茅ヶ崎らしい事業が計画に基づき行えるようにする。 現在、景観計画及びみどりの基本計画の改定作業に併せて、実行ベースでも茅ヶ崎らしい空間づくりを、公共サインガイドライン策定事業や鉄砲道の沿道景観形成で行っているが、引き続き、その取組を進め、茅ヶ崎ならではのまちづくりを戦略的に進めていく。また、現況の自然環境調査を実施しており、調査結果を踏まえて重要な自然環境の保全などをみどりの基本計画に位置づける。 併せて、現在の取り組みについて、広報紙などの既存の媒体だけでなく、SNS（フェイスブックなど）を活用した積極的な情報発信を行う。 さらに、第4次実施計画の策定に併せて、各事業について事業手法の見直しを行い、効率的、効果的な事業推進を行う。</p>														

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No	事務事業名	取り組みの結果
#	記念樹配布事業	対象者・対象範囲・配布方法の見直しを行い、平成29年度から配布時期を前倒し、9月の環境フェアでの実施を予定しています。引き続き、電子での申請受付など効率化の検討を行う。
7	みどりの基本計画推進事業	当該事務事業に含まれる「緑化まつり事業」について、みどりのフォトコンテスト等を開催するなど、みどりとのかかわりに特化した内容へ事業内容の絞り込みを行うなど事業の効率化を行い、事業費を削減しました。（H27決算：589,032円、H28決算額：375,490円（予算額：400,000円）、H29予算額：380,000円）
2	（仮称）まちづくりセンターの設置	現行の景観計画ではまちづくりセンターの設置が位置づけられているが、改定に併せて設置の廃止を行う。28年度に時点で、景観まちづくり審議会に設置しない意向を伝えた。現時点において、審議会にも理解をいただき、設置しない方向で計画の改定を行う予定である。

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

No	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-

